

2017年度 NPO 法人ブリッジフォースマイル 事業報告

1、総括 ※プログラム実施報告は、「自立支援白書 2017」をご参照ください。

今年度は、基盤を整えることに集中した年でした。新しいことに関心が向き、走り出してしまいたくなる気持ちをぐっと抑え、組織としてやらなければならないことを一つずつ片付けていくことに注力しました。その甲斐あつ

て、次に飛躍する環境が徐々に整いつつあります。

これからも堅実に実践と改善を重ね、柔軟かつ前向きに事業を展開して参ります。引き続き、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

2、トピックス

■認定 NPO 再取得しました

2016年8月に特定非営利活動促進法(NPO法)に基づく認定NPO(※)の資格を喪失し、再取得の手続きを進めてまいりました。2017年9月22日に、所管元である東京都より、認定NPOとして認定を受けることができました。(※認定NPOとは、NPO法人への寄付を促すことによりNPO法人の活動を支援するために税制上の優遇措置として設けられた制度の下で、審査を経て認められたNPO団体をいいます。)再申請に際しては、高い公益性を有するNPO団体としての組織運営の安定性および適正性を追求し、一つ一つ課題をクリアしながら進めてまいりました。多くの皆様のご期待とお気持ちにより、活動が成り立っており、その責務を果たすことを、今一度気を引き締めて取り組んでまいります。

資格喪失に際してはご支援者の皆さまをはじめ関係者の方々へご心配をおかけし、たいへん申し訳ございませんでした。

ご支援者の皆さまが当団体にご寄付いただくことによって税制上の優遇を得られるため、今後、遺贈寄付の受け入れなど、新たなご寄付の方法についても検討を進めます。

■カナエール終了しました

7年間行ってきた奨学金支援プロジェクト「カナエール」を終了しました。公的制度や他団体による奨学金支援が充実してきたためです。奨学生カナエールンジャーの成長、ボランティアとの関係構築、社会への啓発など、経済的支援以外での良い効果が複数あったため、たくさんの方に惜しまれての終了でした。

プログラム終了にあたっては、奨学金を継続的にサポートして下さっていた方々に終了のお知らせと共に、賛助会員への切り替えのお願いをさせていただきました。約3割の方が切り替えを承諾してくださいましたが、7割のサポートは終了となり、収入面では大きな損失と

なりました。しかしながら、今後の支援を考えた時、施設退所者でも、進学が当たり前を選択できる環境ができた中、必要性の薄まった事業を終了しなければ、本当に必要なことに力を注げないと考え決断いたしました。

現在、カナエールの仕組みを違う目的において再利用できないか有志による検討が進められています。また、子どもたちにとって、活動参加のインセンティブとなる寄付についても、新たな方法を模索しています。

■個別インターンが躍進しました

早い時期から就労観を育て子どもたちのより良い選択を目的としているインターン・ジョブプラクティスは2017年も多くの子どもたちに利用頂きました。

施設への営業に各担当スタッフが力を入れて利用を促し、バイト・部活、一時帰宅などで何かと忙しい子どもたちが利用しやすくする為、子ども側で都合の良い日程を選べるよう、企業側と話し合い、受け入れ可能な日を増やしていきました。

また、利用が増えてもスムーズに運用ができるよう、ネット申込みの促進を図っていきました。

2017年の特徴の一つとして、個別インターン(キャリア選択の際に個別に相談・依頼があり実施するインターン)の利用が倍以上増えました。個別インターンは施設との信頼関係や企業とのコミュニケーションがとれて初めて調整の段階に進めるもので、1件1件に工数もかかりますが、本来のプログラムの目的にとっても近いもので、2018年も続けて開催できるよう、人員含め調整していきたいと思っています。

また、気軽に参加できる1日だけのジョブプラクティスは、協力企業が増え、その中には職種に興味を持った場合、進学支援までも続けて行なう取り組みも2017年にスタートしており、2018年もこの取り組みを広げたいと思っています。